



国民の森林・国有林

広報

か

な

ぎ

津軽森林管理署 金木支署

No 186

2006.2.24



厳冬のヒバ林

飯詰森林事務所管内

冬 山 事 業 紹 介

今年度も残るところ僅かになりました。冬季の寒さ、積雪等作業環境の厳しい中で各種事業が進められていますが、治山及び生産事業の実行状況をお知らせします。

平成17年度治山工事間もなく終了

今年度の治山事業は16年度補正予算関連の2件を含め12件、調査設計4件という事業内容でしたが、これまで災害もなく順調に推移し、現在1件の工事が施工中です。

屏風山国有林において施工中の「屏風山第二施設災害復旧治山工事」は、平成5年に、波による浸食から森林を守る目的で施工したコンクリートブロック根固工及び竹張覆砂工が、冬期の波浪等により被害を受けたための災害復旧工事です。

日本海での冬の工事でもあり、また、例年にないほどの豪雪と波浪警報、注意報の出る中で波をかぶりながらの作業となったわけですが、無事根固ブロックの据え付けは終了し、法面を残すだけとなっています。法面については、木材利用の推進、耐久性等を総合的に判断し、従来の竹張覆砂工に替えて鉄芯木枠工を施工しています。

ここ数日は春のような陽気と好天に恵まれ、周辺の雪解けも進み完成に向けて着々と進められています。



鉄芯木枠工

当年度最終の生産事業

小泊森林事務所管内冬部沢地区において、本年度最後の請負生産事業を実施しています。

当該箇所は、平成16年末に大規模な地すべりが発生した箇所であり、その下側には日本海に注ぐ冬部沢が流れていることから、河川、海岸への土砂の流入を防止するため、治山工事を予定している箇所です。

この事業は、地すべり防止工事に支障となるスギなどの伐採を請負生産事業で実行しているものです。作業は、枝条の除去等通常の作業内容とは異なるため、現場監督員や事業者には大変ご苦労をお掛けしています。事業終了まであとわずかですので事業者との連携を密にし、今年度の生産事業を無事に終了したいと考えています。



地すべり発生箇所の状況

平成17年度森林巡視員の会開催

ボランティア会員、支署担当者等26名が出席して本年度の打合わせ会議が開催されました。

最初に成田会長（成田林業土木社長）、当支署長の挨拶の後、事務局より17年度活動結果及び18年度活動予定を報告し、続く意見交換では、*林道から軽トラックが転落する事故があったが、そんな場面に遭遇した場合の対応、*何人かの男性にゴミの持ち帰りを話したところ大声を出されたが、そういう場面での対応等、日常の活動における問題点を検討しました。

18年度の活動は、石の塔林道のクリーン作戦、木無岳（四ツ滝山）合同パトロール等を予定し、具体的には幹事会で検討・決定することになっています。



会議の一コマ

◆ 2月の公売結果 ◆

素材（委託販売）

- ・ 2月 8日（青森県木材協同組合）
ヒバ丸太43口、約330m³を出材し、落札は27口63%となっています。
- ・ 2月15日（岐阜県銘木協同組合）
ヒバ丸太12口、約14m³を出材し、全落となっています。

* 2月15日まで実施済み掲載